

～まちの話題～



100周年を祝う子どもたち

英比小学校「開校100周年記念式典」が、10月25日同校体育館で行われました。

英比小学校は明治42年に開校。全校児童や学校関係者、地域住民、卒業生らとともに100周年の節目を祝いました。

大村浩嗣実行委員長が「郷土愛に満ちた良き教育の伝統を、新しい時代にも引き継ぎたい」とあいさつ。卒業生の講演や児童たちの劇や歌の披露などが行われ、記念式典を盛り上げていました。

英比小学校

開校100周年を祝う



式典を盛り上げる卒業生

元気よくもちつき



力強くもちをつく、子どもたち

10月24日、草木小学校運動場で、もちつき大会が行われました。

5年生が中心となり、全校児童で取り組んだ米作りで収穫したもち米を使い、子どもたちが順番にもちをついていきました。

草木連合子ども会とPTAが中心となり行われた大会には、幼児から高齢者までの多くの人が集まりました。つきあがったもち、あんこやきな粉、大根おろしにまぶし、参加者に振る舞われました。

「おいしいねー」。今年はインフルエンザの影響でマスク着用になりましたが、元気よくついたもちの味はやはり格別のようなでした。

身近な人に優しい言葉を



講演を行う阿木耀子さん

講師に作詞家の阿木耀子さんを迎え、第24回町民講座が10月24日エスペランス丸山で開かれました。

「今を豊かに生きるために」をテーマに、夫で作曲家の宇崎竜童さんのことや、7年間義父を介護したエピソードなどを、独特のやさしい語り口調で会場に集まった約300人の前で講演しました。

「言葉はエネルギー。自分の口から出た言葉は必ず戻ってきます。身近な人に優しい言葉をプレゼントしてください」と、阿木さんは話を結びました。